

【効果音…ドア開く・強く（ドガッって感じに開くイメージ）】

【位置…正面・中距離】

揃っているか、新兵ども！ さあ、とっとと整列しろ！ 一秒でも遅れたやつは訓練場のサンドバックと交替だぞ！

【効果音…整列する足音】

よし。

私は貴様らの教官となったレイヴン・ストライド大尉だ。

ゴミ処理場のドブネズミ以下の貴様らを一人前にするためにやってきた。

いいか？ 私が指示を出した時以外、一切動くことを許さん。

許可なく身じろぎ一つ取ってみろ。不細工な面がさらに醜く変形するからな。

私を女だと侮り、命令違反などするようなことがあれば、地獄を見るより恐ろしい目に遭わせてやる。

産まれてきたことを後悔させてやるからな。覚悟をしておけ、ウジ虫ども。

私の下に入った以上、訓練を終えるまで、貴様らに生物としての尊厳はなくなっただと思え。

腐った飯に湧くゴミバエ以下の存在だ。無価値という言葉すらおこがましい存在する必要のない物体だ。

【移動…左耳・中距離】

そこのお前（視聴者以外の新兵）。私が怖いか？ 答えろ。

そうか怖いか。恐ろしいか。ならばとっとと家に帰って部屋の隅でガタガタ震えているが
いっー！

【効果音…殴る・強】

我が軍に腰抜けなど必要ない！ 恐れを知らぬ戦士とならねば貴様らに未来はない！

【移動…正面・中距離】

この程度のことを恐ろしいというのなら、私の訓練には着いてこれない！ 今のうちに

遺書を書いて情けなくマスでもかいておけ！

返事はどうした、クソツタレども！

(返事の間)

よおし。では、早速訓練を始めるが……その前に、だ。

【移動…正面・近距離】

おい貴様。そうだ貴様だ。踏み潰されたミミズののような顔をしている貴様だ。

名を名乗れ。……ふん、耳が腐り落ちそうな気色の悪い名前のミミズだな。

この隊の中で、お前が一番最低のクズだ。戦場で弾除けにもならない足手まとい以下のゴミだ。

だが……だからこそ訓練のしがいがある。この私が直々に、貴様を殺戮マシンになるように訓練してやるろう。

私と共に特殊訓練場に来い。いいな？

(向こうに向かって)

他の連中は訓練場の周囲を100周！一周でもサボったヤツは前歯をすべてへし折るぞ！

さあ行け！ 訓練開始だ！

【効果音…走って離れていく足音】

さあ、貴様はこっちだ。

たっぷり搾ってやるからな。覚悟しろ。ふふふふ……。

【効果音…ドア開閉】

【位置…正面・中距離】

ここが我が部隊の特殊訓練場だ。またの名を……特殊拷問室という。何を目を丸くしている。

ああ、そうだ。ここにはベッド一つしかない。それだけあれば、貴様を拷問するには充分だ。

さあ、ベッドに腰掛けろ。……とつとつとしろ！一秒遅ればその分拷問の時間を延ばすぞ！

【効果音…ベッド軋む音】

よし、それでいい。大人しく言うことを聞いていれば、それだけこの世にいられる時間が延びるからな。

では、始めるぞ。まずは……。

【移動…正面・下（フェラ用の距離）】

貴様の小汚いクソチンポを拝ませてもらおうとするか。

【効果音…ズボン脱ぐ（最初のみ）】

何を動揺している？許可なく動くなと言っているだろうが！大人しくチンポを出せつ。

【効果音…ズボン脱ぐ（残り）】

ふんっ、思った通り、情けないクズチンポだ。

これでは我が拷問にどれだけ耐えられるか……。早々に戦場に出た方がまだマシだったかもしれないな。

では行くぞ。はっあ……っ。

（フェラ）じゅぶ、じゅるるるる、じゅ、ちゅうううう、ぐっぶ、じゅっぶ、ちゅぶ。

っはあ……っ。貴様のチンポ……溶けてなくなるまでしゃぶり尽くしてくれる。

（フェラ）ぐっぶ、ぐっぼ、んぐ、んん、んじゅ、じゅう、じゅう……。んはあ……。

っはあ……っ。んあむ……っ。

（フェラ）ちゅぶ、ぢゅ、んぢゅ、ぢゅ、ぶぢゅ、んじゅ、んちゅ、んっく、んぐ……。

なに？なんだ。何が言いたい、ゴミミミズ。そうだ。これが私の行う特殊訓練、貴様に行く拷問だ。何がおかしい？

(フェラ) ん、ちゅぶ、じゅぶ……んん、んぶ、んぶ、じゅん、んじゅぶ、んじゅ……。
っはあ……っ。男にとつての誇りであるチンポを、口内で食られるのだ。拷問以外の何
もあるまい。

(フェラ) ん……ちゅぶ、ちゆる、ぢゅ、んぢゅ、ぢゅ、ぶぢゅ、んじゅ、んぶ、ぶっぶ。
っはあ……っ。このまま貴様は、女である私にチンポをぶっこ抜かれて、きつたないザー
汁をまき散らして恥辱にまみれるのだ。

明日から私の顔を見ることさえできなくなるよう、尊厳を粉々に砕いてくれるわ。

(フェラ) んんく、ちゅぶ、じゅぶ……んん、んぶ、んぶ、じゅん、んじゅぶ、んじゅ……。
(啜えたまま鼻呼吸) んっふう……っ。ふううう、んっうん、ふー……っ。

(フェラ) ん、じゅ、ちゅ、くぶ、くぼ、じゅぼ、ちゅび、ちゅぼ、じゅぼ、ちゅっぶ……。
っはあ……っ。ふん、生意気に勃起させおつて……っ。

どれだけチンポを膨らませようと、貴様の未来は変わらん。無駄な抵抗をするな。

(フェラ) じゅぶ、じゅ、じゅううう、ちゅぶ、ちゅ、じゅるるる、ちゅぶ、ぶっぼ、ぶっ
ぶ……。

っはあ……。巷では、この特殊訓練が、まるで兵士達へのご褒美かのように思われている
ようだが……奴らはまるでわかっていない。

このようにチンポを弄ばれることが、どれだけ男にとつて苦しいことか……。んう……っ。
(フェラ) じゅぶ、じゅるるるる、じゅ、ちゅうううう、ぐっぶ、じゅっぶ、ちゅぶ、じゅ
ぶ……。

ふん……。どうやら、貴様もまだこの恐ろしさがわかっていなしようだな。

みっともなくよだれを垂らして喜びおつて。

口元を緩ませていることを後悔するがいい……っ。

(フェラ) んあう。ぐぶ、ごぶ、くぶ、ちゅぶ、じゅぶじゅぶ、ぐっぼぐっぼ、じゅぶ、じ
ゅるるるる。

っはあ……っ。んっう、んう……っ。

(フェラ) じゅる、じゅ、ちゅう……。じゅぶ、じゅ、じゅる、くぶ、ぐぶ、じゅぶぶ、じ
ゅるる……。

っふう……っ。それ見ろ。みっともなく我慢汁が溢れ出してきたぞ。

ほんの少しチンポをしゃぶられたぐらいで、赤子のように泣き出して、それでも男か、ゴ
ミミミミズが。

(フェラ) じゅ、ちゅうううう、ぐっぶ、じゅっぶ、ちゅぶ、じゅぶ、じゅ、じゅううう、
ちゅぶ、ちゅ。

キンタマも、恥ずかしげもなくぶぶぶぶら揺らして……。コイツを握りつぶしてやってもい
いんだぞ？

(フェラ) んじゅ、んちゅ、んぶ、んぶ、ぶっぶ、ぐっぼ、んぐ、んん、んじゅ、
じゅう、じゅう……。

そうら……っ。キンタマを手のひらで包み込んで、ぎゅうぎゅうと……っ。

どうだ、恐ろしかろう……っ。貴様の未来を今ここでなくしてやろうか？ ん？

(フェラ) ん、じゆる、ちゆ、んぶ、んう……、ちゆぶ、じゆぶ、じゆ、ちゆ、んあう……
んつく、んぐ、んん……。

っはあ……っ。こうまでされてなお、チンポを硬くさせるとは……っ。

ゴミだけではなくマゾだったのか。情けなさに拍車がかかるな……っ。

(フェラ) んん、ちゆう、ちゆ……。ん、んぶ、んぶ、んつぶ、んぶ、じゆん、ぐっぶ、ぐ
ぼ、んじゆぶ、んじゆ……。

くくく……っ。チンポの奥からゴミザーメンの匂いが漂ってきたな？

もうすぐそこまで精液が昇ってきていると言うことか。

貴様の男としての尊厳もここまでだな……っ。

(フェラ) じゆう、じゆ、じゆる、ちゆ、ちゆう、ぢゆうう、じゆううう……。ちゆぶ、
ちゆうう、ちゆ、ぢゆう……。

(唾えたまま話す) さあ……っ。とつとと精液をぶちまけろ……っ。私の口の中に、くっさ
いオス汁、吐き出してしまえ……っ。

(フェラ) んじゆ、んちゆ、んつく、んつぐ、んん、ちゆう、ちゆ、ぢゆ、ぢゆう、ちゆっ
ぶ、ちゆっぶ、ぢゆぶ、ぐぶ……。

ぶはあ……っ。はあ、はあ、はあ……っ。くく……っ。

このままイカせてやると思ったか？ 私がそんな優しい女に見えるのか？ ん？

そう簡単に貴様を楽にしてやるものか。

オスの精神を破壊されるところを、じつくり味わわせてやる。

自分の心が碎ける音を、ゆっくり聞いていくといい……っ。んっあ……っ。

(フェラ) んっぶ、んちゆ、んつく、んつぐ、んん、ちゆう、ちゆ、ぢゆ、ぢゆう、ちゆっ
ぶ、んじゆ、んちゆ、んつく……。

っはあ……っ。くくく……っ。

(フェラ) じゆるるる、ちゆぶ、ぶっぼ、ぶっぶ……。ちゆう、ちゆ。ぢゆ、ぢゆる、ちゆ
う、じゆ、じゆう、ちゆうう……。

(唾えたまま鼻呼吸) んんっう、んっふう、ぶっう、んううう……っ。

(フェラ) んじゆ、んちゆ、んぶ、んぶ、ぶっぶ、んっぶ、んぶ、ぐっぶ、ぐぼ、ぐっぶ、
ぐっぼ、んぐ、んん、んじゆ、じゆう、じゆう……。

っはあ……っ。キンタマをこんなに膨らませて……っ。情けないオス汁がどんどん溜まっ
てきているようだな……っ。

(フェラ) んぶ、んじゆ、じゆるる……ちゆ、あん、ぢゆ、んぢゆ、ぢゆ、ぶぢゆ。ぐっぶ、
ぐっぼ、んぐ、んん、んじゆ、じゆう、じゆう……。んはあ……。

っはあ……っ。キンタマがたぶにするほどの子作り汁も、本来なら愛する女性に注ぐは
ずだったろうに……っ。

(口内射精) んっつうううん……っ。 んっつううんっ、ふっつうううん……っ。 んっふっ、
んっつうっ、んっつうっ、ふっつううう……っ。

(啜えたまま鼻呼吸) ふー……っ、ふー……っ、ふー……っ、はー……っ。

(口離す) ふへあ……っ。 んっ、ふっ、はっ、っふう……っ。

【移動…左耳・近距離】

(鼻呼吸) んっう、ふー……っ、ふー……、んっう……っ。

(精液咀嚼) んえあう……。 はむ、んっちゅ、んべあう、んっうむん……っ。

(そのまま話す) 聞こえるだろう……？ 貴様の精子が踊り狂っている音が……。

(咀嚼) んあむ、んっちゅう……。 じゆるる、ぶっちゅう……。 んっう、ふう……。

(そのまま話す) 子作りのためのザーメンが、すべて無駄死に……。 使い捨ての新兵のよう
に消えていく……。 情けなあい……。

(咀嚼) んっう、んっちゅ、んべあ、んあう……。 んっふー……。

(飲む) んっぐ……っ。 んごきゅ、ごきゅ、んごきゅ、ごきゅ……っ。 んぐ、ごきゅ、
ごく、ごっくん……っ。

ふっはあ……っ。 はー……、はー……っ。

【移動…正面・近距離】

どうだ……？ 私にザーメンぶっこ抜かれるのは、とてつもない屈辱だろう……？

貴様のような出来損ないの人間以下のクソミミズにはお似合いの拷問だ。

さあ……この特殊訓練はまだまだ続くぞ。

貴様の心がぶっ壊れるまで、何度もチンポを射精させてやる……。

いつまで耐えていられるか、見物だな。 くくくく……っ

【位置…正面・近距離】

むう……？ ほう、貴様のチンポ……。 私に無理矢理勃たされる前から再勃起するとは…
…。

貴様自身はウジ虫以下のクズだが、チンポの方はまだ見込みがあるようだ。

しかし、それもいつまで続くことか……。

【移動・右耳・近距離】

さあ……今度は貴様のチンポを、この手でしごいてやる。

ああ、そうだ。手コキだ。普段は自分の手でしか触られたことのない雑魚チンポ、私が直々にしごいてやろう。

女の私に、連続で強制射精させられる屈辱を味わうといい。

そうら……始めるぞ。

【効果音・手コキ 開始】

チンポしこしこ、チンポしこしこ……。しゅっしゅっしゅっしゅっ……。とな。

どうだ？ 気持ちいいだろう？ 今まで何十人という男達に、この洗礼を浴びせてきたからなあ……。っ。

入隊してきた新兵達の中でもとびっきりのクズを見定めて、こうしてチンポを辱めてやるとだな。

そいつは必ず、いい兵士に育つんだ。今の貴様のような存在価値のないゴミミミズでも、立派に人間になれる。

チンポを責められる屈辱がよほど効いているようだ……。もちろん貴様も、そうなってくれるよな？

このまま私に一方的にチンポをいじめられるゴミクズのまま置いてくれるなよ？ さもないと……。

【囁き】

お前は一生……私の性処理用人形に格下げだ……。

今はまだ、そこらを這いずるウジ虫以下の存在だが、それでも成長すれば使い物にはなるのが新兵だ。

しかし、その成長が見込めないのであれば話は別。チンポしか使えない新兵など、自由に生きる権利さえ与えられん……。

ゴミクズなりに国のためにと志願してきた勇気を否定され、私のストレス解消のためだけに管理されるんだ……。

私が新兵の教育から帰ってきたら、まずは私のおまんこを舐めさせられる……。そのミミズ顔の上に騎乗され、呼吸さえままならぬままにおまんこクンニ……。

私が満足するまでひたすらおまんこをぺる。ぺる。ぺる……。舐め続けてもらおう……。無論、その間貴様にチンポをいじる権利はない。私のおまんこ汁をぐくぐく飲まされながら、ひたすらチンポを勃起させられるんだ……。

そんな生き方……いや、生きていたとも呼べないような生活は嫌だろう？

本来であれば、そのおまんこにチンポを突っ込み、力強く腰を振り、女に甘い嬌声を上げさせるのが男の役割だと言うのになあ……。

だというのに……なんだ？ 貴様は？

そんな屈辱的な生活を想像して、チンポ、勃起させているのか……？ 私の手の中で硬くなっているぞ？

なら、今すぐ格下げしてやろうか？ 本部に連絡して、貴様を除名してやろうか？

そうしたら貴様は、今すぐ私の性処理人形だ。

無理矢理させられるのはクンニだけじゃあないんだぞ？

私のおまんこを舐め終わったあとは、膣内マッサージだ。

この勃起チンポを私のおまんこに突っ込んで、ひたすら動かしてもらおう。

ばんばんばんばん、ずぼずぼずぼ……。おまんこの中でチンポ勃起させて、膣内のひだひだを刺激するんだ……。

【移動・左耳・近距離】

それはセックスじゃあないのか、と……思っただろう？

バカめ。その程度の想像力しかないから貴様はゴミ虫以下のザコだと言うのだ。

セックスというのはなんだ？ 子作りのことだろう？

だが、この膣内マッサージは子作りではない……。いくらチンポを突っ込んで腰を振って、どびゅどびゅザーメン中出ししても、子作りではないのだからセックスではない。

子作りもせずにチンポを使わされることがどれだけ屈辱か、お前にもわかるだろう？

キンタマのついた男だったら、当然だ……。そうだろう……？

違うのか？ ん？ どうしてまたチンポを勃起させている？

私の手の中でこんなにチンポ硬くして、しこしこ擦られて、我慢汁をもらしているんだ？

したいのか？ 私の膣内マッサージ……。子作りでもないのにおまんこハメて、チンポを無理矢理射精させられたいのか？

私の私室で、私が普段眠っているベッドの上で、私の言うとおりに腰を振らされる生活がいいのか？

私がチンポしゃぶらせると言ったら差し出さなければいけないんだぞ？

先ほどのように、キンタマ根こそぎぶっこ抜かれるストレス解消バキュームにも、耐えねばいけなくなる……。

貴様のチンポの自由はなくなるんだぞ？ 愛する女に子を孕ませて子孫を残すという、

男として最大の義務を果たせなくなる……。

それでもいいというのか？ この痴れ者（しれもの）めが……っ。

【効果音…手コキ・激しく】

そら……っ。だったらチンポ、イかせてくれるわ……っ。これでイッたら貴様は格下げ決定だ……っ。

一生私専用の生デイルドとして使ってやる……っ。私以外のおまんこを知らないままに死ぬまで私が飼ってやる……っ。

そら、イケ、イケ……っ。新兵になったばかりで即除隊だ……っ。

お前は一生ザーメンを吐き出し続けるだけの存在だ……っ。

男に産まれた意味をすべて否定されるがいい……っ。

お前のクソツタレな名前さえ奪ってやる……っ。お前の名前を「チンポ」にしてやる……っ。「レイヴン大尉専用チンポ」だ……っ。

いい名前だろう？ そうら、イケ……っ。チンポイケ、チンポイケ……っ。

出せ、出せ、出せ……っ。くっさいザー汁吐き出してしまえ……っ。

イケイケイケ……っ。

【効果音…手コキ 停止】

……なんてな。

ふふ……本当にイかせてもらえると思ったか？ このザコ虫め。

この私が、お前に射精の自由など与えるものか。

気持ちよおくお漏らしして、それでおしまい……などと、させると思ったか？

二度も同じ手に引っかかるとは……やはりお前は、兵士より生デイルドの方がお似合いのようだな。

【移動…右耳・近距離】

お前にはまだまだ屈辱を味わわせてやる。

本来ならば支配するはずの女に、一方的にチンポを責められて、惨めに苦しみ続けるがいい……っ。

【効果音…手コキ 開始】

そら、そら、チンポしこしこ、チンポしこしこ……っ。

ここまで密着されて、柔らかい胸を押し当てられて、温かい吐息を耳元で感じながら、チンポしこかれて……っ。

キンタマどんどん膨らんでくるなあ……？ イク寸前のチンポから逆流して、ぱんっばんに膨らんだまあるいキンタマがなんて無様だ……っ。

悔しいだろう？ ならば私を押し倒してみろ……っ。

私は女だ。男に組み伏せられて、おまんこ犯されて種付けされて、赤子を孕んでポテ腹にされるのがお似合いの女だぞ？

私を押し倒して、この射精寸前勃起チンポを突っ込んで、レイプしてみたらいい……っ。

チンポだけなら優秀のようだからな。案外逆転できるかもしれないぞ？ こんな風に……。

(嘘喘ぎ) んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ。ん、んお、おん、おお、

おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ。

おっおお……っ。チンポやっべ、チンポやっべ、おおお……っ。

チンポくださいっ、もっとくださいっ、孕ませお願いします、赤ちゃんお願いしますっ……っ。おっほっおおお……っ。

なんてことに、なるかもしれないぞ……？ くくく……っ。

はは……っ、想像したか？ またチンポが一回り膨らんだようだ。

射精寸前の雑魚チンポに、キンタマからさらに精液昇ってきて、ガッチガチだぞ……っ。

バカめ……っ。この私がそんなことになるわけがなからう……っ。

だが、実際に行動に移さなかったただけまだ利口だな。

無理矢理押し倒そうとしてきた瞬間、このチンポごとキンタマを握りつぶしていたところだったからな。ふふふ……っ。

利口になれたご褒美をくれてやろうか？ チンポ、イキたいか？

このまま再び、私にチンポぶっこ抜かれてどぴゅどぴゅ射精させてもらいたいのか？

そうだろう？ ならば、私に媚びへつらえ……っ。

チンポ射精させてください、チンポイカせてください。

ウジ虫以下のザコオスチンポ、レイヴン様に捧げます。

一生ボクのチンポのお世話してくださいさあいと……情けない声でお願いしてみる。

そうしたら射精させてやるぞ。さあ、どうする、どうする？

言っておくが、言わなければこのまま永遠にチンポ寸止めだ。キンタマの中に無限にザンメン溜め込ませて、爆発するまで射精させてはやらん。

さあ、懇願しろ。喘ぎ声以外出せないその口で、こいねがってみろ……っ。

そら、そら、そら、そら……っ。

(台詞の間)

(がっかりした感じで) ふう……。

まったく……情けないザコオスめ……。この程度で音を上げるとはな。

貴様は不合格だ。……しかし、射精はさせてやろう。言えばイカせてやると言ったからな。

そうら……っ。

【効果音…手コキ・激しく】

さあイケ、雑魚チンポイケ……っ。敗北チンポ射精しろ……っ。
イケイケイケイケ、出せ出せ出せ出せ。

そうだ、お前は負けたんだ。この私に負けたのだ。ザコ虫が。

あそこで私の言うことを聞かなければ、私はお前を認めておまんこを差しだしていたぞ。
ご褒美おまんこセックスさせてやっていた。さっきの嘘喘ぎが真実になっていたかもな
あ。

しかしお前は負けたのだ。チンポ射精というエサに釣られて、惨めに敗北した。
だから、もう……お仕置き決定だ……っ。

さあ、イケ……っ。まずはこの、醜く溜め込んだザコ精子を吐き出してしまえ……っ。
お仕置きはその後だ……っ。さあ、イケ、イケ……っ。

寸止めチンポイケ……っ。ザコチンポ、ゴミチンポっ、精液吐き出せ……っ。

イケ、イケ、イケ、イケ、出せ、イケ、出せ……っ。

敗北射精、してしまえ……っ。

【効果音…射精】 【効果音…手コキ 停止】

びゅっびゅ、びゅっびゅ……っ。どぶどぶ、びゅっぶう……。

ほうら……気持ちいいか……？ 情けなあくお漏らしびゅっびゅ、気持ちいいか……？

ああ、もつたいたい……。あるいはこの精子が、私を孕ませるかもしれないか……というの
に……。

くくく……。

【囁き ここまで】

【移動…正面・近距離】

さあ……みつともなくお漏らしさせられたところで、お仕置きだ。

とはいえ、安心しろ。やることは今までさほど変わらない。

ただ……次はより強く……お前に屈辱を味わわせてやる、というだけだ。

先ほど言ったように……お前を生デイルドに格下げさせて、な。くくくく……。

【位置…正面・中距離】

何？ もう出ないだと？ ふざけたことを言うな！

貴様はまだまだ出せるはずだ。下らない戯れ言を言うんじゃない！ ウジ虫以下のクソムシが！

第一、もしもこれが敵軍の捕虜に行われた実際の拷問だったらどうするつもりだ？

射精しなければ殺されると言うときにも、お前はもう出ないと言うつもりか？

いいか。これはあくまで特殊訓練なんだ。実際に捕らわれる前に拷問を体験していると思え！

ふん、やはり貴様をここに連れてきて正解だったな。思った通り、いや、思った以上の腑抜けめ！

貴様のようなヤツを矯正するためにこの部屋はあるんだ。

私が貴様をここまで辱めたのは、すべて貴様のためを思っていることだ。

貴様のような弱っちいザコ虫にも、無償の愛を注いでやっているということがまだわからんか！

【効果音…ベッド軋む音】

さあ、とつとつそこに横になれ！ そしてチンポをおっ立てろ！

私が貴様その腑抜けチンポを修正してやる……！！

さあ、チンポにおまんこ、押し当てて………っ。

【効果音…水音】

行くぞ………っ。私のおまんこで、チンポを責めて、責めて、責め抜いてやる………っ。

【効果音…徐々に挿入】

んっうん………っ、はっ、っくっ、ふっくっ、んっううん………っ。っおお、っぶうう………っ。

【効果音…挿入完了】

ふっうう、はあ………っ。はあ、はあ………っ。

どうだ………？ これが女のおまんこだ。

情けないなあ。こんなところで童貞卒業とは。本来ならば愛する女性に捧げるべきものだぞ？

だが、こんなものはまだ序の口だぞ……っ。私のレイプで、徹底的に辱めてくれるわ……っ。

【効果音…セックス 開始】

っはっあ……っ。はっ、はっ、んっはあっ、くうっうん……っ。

さあどうだ……っ。どうなんだ……っ。チンポ犯されて、どんな気持ちだ……っ。

自分で自分がみっともないだろう……っ。先ほど顔を合わせたばかりの女と交わるなどと、男として最低の――

【効果音…射精】

んっうんっ！？

【効果音…セックス 停止】

んっあ……っ、出て……っ！？ くうっうう……っ。中に、精子……っ。漏れている……っ、だど……っ。

うっ、あっ、すごい勢いで……っ。射精して……っ。はっ、くっ、っううう……っ。はあ、はあ、はあ、はあ……っ。

【効果音…殴る】

貴様あ……っ、私が一体いつ射精していいと言った……っ。

命令違反をすれば地獄を見せると言ったのをもう忘れたのかっ。

我慢できなかっただと？ 言い訳をするなあっ。

【効果音…殴る】

いいか？ 次また命令違反をすれば……っ。どうなるかわかっているだろうか？

幸い、まだチンポは元気なようだ。ふん、もう出ないと言っていたのはどこの誰だったか……っ。

チンポレイプ、続けるぞ。いや……っ。命令違反を犯した分、さらに激しくいかせてもらう……っ。

ゴミクズ以下の貴様にふさわしい体験をさせてやる……っ。

【効果音…セックス 開始】

はっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はああ……っ。
さあ、行くぞ……っ。チンポ、ダメになるまで……っ。犯し尽くす……っ。

【効果音…セックス・激しく】

んっうううん……っ。はっあっ、んっはあっ、はっ、はっ、はっ、はあ……っ。
どうだ……っ。私の高速ピストンは……っ。おまんこのひだひだで、チンポをどちゅどちゅ犯し尽くす、本気の腰振りだ……っ。
チンポにおびたらしい快感がまわりついて、恐ろしいだろう……っ。
んっ、はっ、はっ、つくっうう……っ。ふー……っ、はー……っ。ふっううう……っ。
んっうううん……っ。貴様はこんなにも情けないというのに、チンポの方は優秀だな……っ。

歴戦の戦士である私相手に、悪くない働きだ……っ。くっううん……っ。
しかし、だからこそ貴様自身がより惨めに見えるというものだ……っ。
チンポに謝ったらどうだ……っ。みっともない持ち主でごめんなさい、となあ……っ。
んっはあ……っ。
んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ、うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……っ。
んっ、ふっ、つくっうっ、はっあああ……っ。ふっ、んっ、んっうんっ、はっあああ……っ。

何い……？ また出そうだと……っ。ふざけるな……っ。出すんじゃあない……っ。
射精はまだだ、我慢しろ……っ。こんなことで音を上げては、訓練にならないぞ……っ。
さあ、おまんこもつと締め付けてやる……っ。絶対に、射精するんじゃあないぞ……っ。
んっううん……っ。はあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……。
んあっ、あん、んくっ、んうっ……、んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ、あっ……。
はっ、はっ、くうっうっ、んっううん……っ。ふっ、はっ、はっ、はっ、はっああ……っ。んっううん……っ。

我慢できないだと……っ。いや、ダメだ、許さん……っ。
射精するな、絶対出すな……っ。イツたら貴様は除隊処分だ……っ。
我慢しろっ、耐えろっ、キンタマ抑えつけれ……っ。
チンポをびくびく震えさせるんじゃあない……っ。

イクなっ、イクなっ、イクなっ、イクな……っ。

【効果音…セックス 停止】

んっはあ……っ。はっあ、っふう……っ。

チンポがこんなにも跳ねて……っ。私がおまんこピストンを止めていなければ、射精していたな、これは……。

まったく、本当に情けない男め。いや、貴様などもはや男ですらない。

クソムシという名すらもったないカスだっ。許すわけにはいかん……っ。

さあ、ピストン再開だ……っ。チンポ、絶対に射精するんじゃあないぞ……っ。

【効果音…セックス・激しく 開始】

はっ、はっ、はっ、はっ、はっああ……っ。

ふっうう……っ。チンポ、また大きく……っ。くっうう……っ。

私のおまんこの弱いところを責めてくる……っ。チンポはこんなにも優秀だというのに……っ。っああ……っ。

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや、いや、ん、んうっ、んあ、んあう……。

はっあ……っ。貴様はどれだけ情けないのだ……っ。

いくら私のおまんこが気持ちいいからとは言え、そのようにとろけきった顔をして……っ。

言っただけだぞ、これが本当の拷問だったらどうするんだ、と……っ。

こんなにチンポが弱ければ、より強い拷問を受けて、お前はあつという間に敵に墮とされ……っ。

我が軍の機密事項をべらべら話してしまうだろうな……っ。んっはあ……っ。

そのような危険分子を、このままにはしておけん……っ。んっううん……っ。

はっあ、はっあっ、んっあっ、っああ……っ。チンポ、締め付けて……っ。鍛えて、強くしてえ……っ。

お前を強い兵士に、育て上げるからこそが……っ。私の、役目なんだからなあ……っ。

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……。

【移動…正面・近距離】

はっ、はっ、はっ、はっああ……っ。チンポ震える……っ。中で細かく痙攣して、くっううう……っ。

【移動・右耳・近距離】

はっ、はっ、おまんこ、かき混ぜてくる……っ。っ おおお……っ。
おまんこ、気持ちいい……っ。うっ おっお……っ。
うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、はっ、はあっ……。おっ、おおっ、おっ、
ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ。
ッくっううう……っ。はっああああ……っ。はっ、くっ、んっううん……っ。
おっ、んうっ、んっおっ、おっおお……っ。くっ、ふっ、ふううっ、おっおおお……っ。
んっううん……っ。

【効果音・セックス 停止】

はっあ……っ。はあ、はあ、はあ、ふー……っ。んっはあ……。

【移動・正面・近距離】

はあ、はあ……。貴様……今、射精しようとしたな……？
耳元で私の喘ぎ声を聞いて、チンポ興奮させて……溜め込んだザーメンをどびゅどびゅ
ぶちまけようとしただろう？
また命令違反するつもりだったようだな……。勝手に私のおまんこに種付けしようとする
など……。
そろそろわかっているはずだ……。今のお前は、私に射精管理されている、と……。
私が今までどれだけの男を教育してきたと思っっている。射精の兆候など、すぐにわかる。
私のおまんこにチンポが入っている限り、貴様は二度と勝手に射精など出来ん……っ。
わかったのなら……っ、私に射精を許可してもらえるように気合いを入れる……っ。

【効果音・セックス・激しく 開始】

あっ、あっ、あっ、い、んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ、
あっ……。
ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……。ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……。
はっあっああ……っ。おっ、んっ、んっおっ、おっおお……っ。くっううう……っ。
そら、そら……っ。どうだ……。チンポ、今までにない締め付けだろう……。っ。
キンタマからザーメン搾り取るような、おまんこのうねり……。っ。チンポ亀頭からみつ
く肉ひだの感触に、耐えてみせろ……。っ。
んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……。

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひお、っおお、んおう、んつく、くお……っ。ほおっ、
んんお、つくお……っ。んうっ。おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ。

【移動…左耳・近距離】

おっおおお……っ。チンポいい、チンポいい……っ。子宮に、当たる……っ。くっうん
……っ。チンポっ、種付けしようとしてくる……っ。子宮の入り口にチンポ伸ばして、っ
おっお、くっうっう……っ。

精液注ぎ込もうとしてきているぞ……っ。はっああああ……っ。

持ち主よりもよっぽどオスらしい優秀チンポ……っ。貴様などにはもつたない……っ。
ほっおおお……っ。

ひい、あはあ、ううあっ……。ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……あ、ああっ、
ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ。

んあ、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ。ん、んお、おん、おお、おん、お
お、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ。

ふっ、おっ、くっうう、はっああ……っ。あっああ……っ。来た、来た、来たぞ……っ。
っああ、絶頂、近付いてきた……っ。

ああそうだ、私もイキそうだ……っ。くっううう……っ。子宮アクメ、来る、来る……っ。
出してくれ、中、ザーメン、出してくれ……っ。どびゅつと熱いの、びゆるびゆる、精子
い……っ。

子宮にあつたかいの、注いで欲しい……っ。ねばねば種付け精子で、子宮うずめてくれえ
……っ。

おおおっ、んっおおっ、イッグ、イッグ、まんこイグっ、アクメぐるっ、おっ、おっ、出
してっ、出してっ、孕ませてっ、孕ませてっ。

おっ、んっ、っおおっ、ほおおっ、おおおおっ、んうっおおっおおお……っ。

(無言でピストン音だけ続く・数秒)

……ふふ……。なるほど……っ。少しは貴様も成長したようだ……っ。

【効果音…セックス 停止】

【移動…正面・近距離】

今度は引つかからなかったようだな。

ああ、私は今、一度も射精していいとは言っていなかった。

先ほどのわざとらしい演技で射精していたら……今度こそ、見込みなしということで除隊処分だったぞ。

いいだろう。ならば……今度こそ許してやる。

射精………していいぞ。ふふふ………。

【効果音…セックス・激しく 開始】

さあ………っ。チンポイケ………っ。イッてしまえ………っ。

女に射精管理されて喜んでるマゾチンポっ、お望み通りにイッてしまえ………っ。

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ、ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、やんっ、ああ、うあんっ。

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ………。

はっあああ………っ。んっうっ、くっうっう………っ。

ああ、出しているぞ………っ。何度も言わせるな………っ。

さあ、出せ、出せ………っ。成長できたご褒美だ………っ。私の子宮に、どっぶり種付けしろ………っ。んっ、はっ、はっ、はっあっ、んっうんっ、んっうっ、くっ、うっ、んっうん、はっあああああ………っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

っおっおお………っ。んっ、はっあああ………っ。出ている、ぞ………っ。また、たっぷりと………っ。ふっうっう………っ。

我慢した分、濃厚で………っ。あああ………っ。子宮に絡みついてくる………っ。生意気にも、私を孕ませようとしてくるじゃないか………っ。

っはっあ、はっああ………っ。くくく………っ。心地よさそうな顔をして………っ。

こんな愛のない交尾で喜ぶことが、どれだけ屈辱的か、わからないでもあるまいに………っ。

はっあ、はっあ、はっあ、ふっうっ………。んっう、はあ………。

ふう、ふう………。ん………っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

っはあ………。はあ、はあ、ふう………。

よおし………。ひとまずはよくやった。まだまだ甘っちょろいゴミ虫だが、認めてやろう。しかし………チンポはよくとも、お前がダメダメだということに変わりはない。

次は、貴様をさらに成長させる訓練を受けさせてやろう。

そのチンポで、私を納得させてみる。期待しているぞ。ふふふふ………。

【位置…正面・中距離】

いいか？ 今の甘っちょろい貴様に必要なのは、自分の限界を超える訓練だ。先ほどからもう出ない、もう無理だと言いつつも、私に責められれば勃起し、射精してのように、貴様は自分の限界を自分で決める悪癖があるようだ。

そんなザマでは戦場では生き残れない。絶対絶命の状況におかれて、自分の限界を突破して初めて活路が開けることもある。

そいつをお前の身体に刻みつけてやろう。

【移動…正面・バック用の位置】（背中を向ける）

さあ、始めるぞ。限界突破のチンポ搾り……っ。

キンタマの中身、空っぽになるまで……犯し尽くしてくれる……っ。

【効果音…挿入】

おっおっおっおっ……っ。んっうう、ふっううう……っ。はあ、はあ……。
んっう……っ。

【効果音…セックス 開始】

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ。

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んつく、くう……んんんう……。

いいか……っ。何度も言うが、これはお前の限界を突破させる訓練だ……っ。

つまり……先ほどまでのように、射精を我慢する必要はない。

むしろその逆……何度も何度もチンポ射精しろ……っ。

今だけは、私のおまんこは、お前専用のザーメントイレだ……っ。はっああ……っ。

チンポの欲望の赴くままに、精液を吐き出せ……っ。

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ、んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ。

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、お、ん。ん、んう、んっ……。おん
っ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ。

ふっうううう……っ。おとおっ、んっく、ふっうう、はああああ……っ。
うっ、んっ、んっうんっ、はああああ……っ。

んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ。ん、あん、はあ、ああん、うん、あんっ、あっ、
んあ、ああんっ。

ああ、あん、うん、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ。

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ、んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん
……。

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ……っ。んいつ、んっひい……っ。へあっ、
ふあっ、あっふ、んういい……っ。

おとおっ、っんんおっ、おとおおっ、おうっ、んっおっ、おんんっおおっ、っん
ん……っ。

はっあ、はっああ……っ。ふっう、ふっううう……っ。

チンポ苦しいか？ 精液昇ってきて、破裂してしまいそうだろうか？

なら、さっさとイケ……っ。我慢など必要ない……っ。んっうん……っ。

このまま、子宮の奥にチンポ押しつけて、どびゅどびゅ中出ししてしまえ……っ。

男を見せてみる……っ。私を孕ませるぐらいの気概で、射精しろお……っ。

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ。あっ、んっあ、んうああ……っ。はああ……っ。

あっく、んううう……っ。んっひいつ、はああ……っ。あっ、っはあっ、んううあっ、は

ああ……っ。

っはあっ、っはああ……っ。あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ。

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、
おとおっんんっ、おっ、っんん……っ。

んっ、んうっ、おとおおおっ、んっ、んっ、っおおっ、おうっうっ、っおおっ、おお
っ。うっ、っんんんっおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ……っ。

っくううう……っ。んっおっ、っおおっ、ふっうう、おっおお……っ。

【効果音…射精】

んっううう……っ！？くっうう、ふっううう……っ。

【効果音…セックス 停止】

いゝ、ち……っ。はあ、はあ……っ。

早速一回目か……っ。はああ……っ。ああ、いいぞ……っ。許可してやる……っ。

何度も、何度も、何度でも……っ。チンポ、射精しろ……っ。

【効果音…セックス 開始】

んうあああっ、ああああっ、あっ、うああっ、ああっ、んうあああ……っ。はっ、はあっ、ふうううっ、んうあああ……っ。はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ。

あああっ、ああああっ、っんんんっ、っああっ、っんっ、んんっあっんんいっ、いっ、いっああっ、あっ、っんん……。

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおっ……っ、おっおっ、んっ、おっおっおっ……っ、んんんっ、んうおっおっ……っ

んっ、おっおっおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ、っおっ、おんんんっおっお……っ。

んっううううっああっ、っあっ、ああっ、っんんっ、んんっ。

んんっうっ、おっおっおっんんっ、んおっおっおっ、っうっ、っうっ、おっおっ、おうっ、っんんおっおっおっんんおっおっんっ。

あっ、ああああっ、あああっんんっああっ、あんんっ、あっ、あっんんっ、っいっ、っいっ、っ、いっいあああ……っ。

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおっおっ、うっ、っうっ、っおっ、おっおっ、うっ、っんっ、んおっおっ、おっおっんんっおっおっおっ。

無理、だと……っ。いや、無理ではない……っ。私のおまんこに包まれて、チンポはこんなに勃起しているではないか……っ。

はっあ、はあああ……っ。この程度で弱音を吐くな……っ。

女の私に一方的に犯されて、悔しくないのか、ドブネズミ以下のクズが……っ。

目の前で淫らに叩きつけられる尻肉を鷲掴みにして反撃するぐらいの気概を見せてみる……っ。

んっううん……っ。ああ、そうだ……っ。その調子だ……っ。くっうっううん……っ。

んあっ、っんっ、んあっ、っんっ、んいっいっいっいっ、っあっ、ああああ……っ。

うあっ、あんっ、あああああっんんっ、ああっ、あんっ、っいっい……っ。

おっおっんっ、っおっおっおっうっ、っうっ、っおっおっ、おっうっ、っんんっ、んおっおっ、っんんおっ、んんん……っ。

んんんんうっ、っおっおっ、おっ、おんんんっ、おっおっ、おうっ、っうっ、っおっおっ、おっ、うっ、んんんんっおっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん……っ。

おっ、っおっおっ、チンポビクついて……っ。くっううん……っ。いっぞ、出せ、出せ……っ。

子宮に、さらに……っ。追い打ち中出し、決めてみる……っ。

私の子宮、ザーメン潰けにしてみせろお……っ。っおっお……っ。

うっ、ぐっ、ふっうううっ、んっおっおおお……っ。

【効果音…射精】

に、つい……っ。つくううう……っ。

【効果音…セックス 停止】

ふっううう……っ。ねばねばザーメン、たっぷり出る……っ。おっおお……っ。
はっあ、はああ……っ。

何……？ まだそんなことをほざくか……っ。もう立たない、などと……っ。

ダメだ、おまんこは決して止めてやらんぞ……っ。

貴様はチンポ以外取り柄のないゴミ虫だ……っ。そのチンポさえ否定されたいか……っ。
もつと、もつと、強く……っ。チンポ搾り取るぞ……っ。

限界を超えてみせろ……っ。

【効果音…セックス・激しく】

おおっおっおお……っ。っううんっ、くっううう……っ。

んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ、うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、
んっ、んっく、んっふ……。

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、ん
あうっ……。

んおっ、おん、んくっ、んうっ……、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、
おっ、おっ、おっ、おっ……。

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや、いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……。

それ見ろ……っ。貴様よりも優秀なこのチンポ、私の子宮をっ、っおお……っ。ごりごり
えぐってくるじゃあないか……っ。

持ち主がチンポに負けてどうする……っ。チンポ以下のザコミミズがあ……っ。おっおお
お……っ。

このチンポのようにっ、っおっ、んっおっ、子宮突き上げてっ、っおお……っ。孕め、
孕めと、子宮アクメを迫ってくる、チンポのように……っ。 貴様も、強くなれ……っ。ん
んっっうおお……っ。

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、ん
あうっ……。

うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……。おっ、おおっ、お

っ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ。
あっ、あつい、んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ、あっ……。

んっううん……っ。おとおおっ、くっ、ふっ、っおおっ、ほっおお……っ。
あっ、くっ、はっ、はっ、これはっ、くっううん……っ。

私も、んっいい……っ。イグ、イギそう、だ……っ。ほっおおっおお……っ。

ふっうう……っ。ううう……っ。あっあああ……っ。

はっ、くっ、チンポ、暴れて……っ。おとおお……っ。子宮の入り口こねくりまわされて……っ。おっほ……っ。

おっ、おおっ、イグっ、イグっ、まんこイグっ、まんこイグっ、ほっおお……っ。
はっ、はっ、出せっ、さあ出せっ、限界突破射精……っ。

キンタマから最後のザーメン絞り出せ……っ。キンタマの奥底の、さらに奥の……っ。
たった今作られたばかりの精子まで、一匹残らず……っ。おとおお……っ。

注ぎ込めえ……っ。おとおお……っ。

ん、つく、ん、んふう、んあ、あう……。ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあ……。
んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあ……。

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ、っああ、んあう、んつく、くあ……っ。

ほおっ、んんお、つくお……っ、んうっ。おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……
っ。

ひい、あはあ、ううあ……。ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……あ、ああ、
ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ。

イッグ、イッグ、イッグ、イッグうう……っ。おとおっおお……っ。
んっううううううううう……っ。

【効果音・射精】

(絶頂)んっおおっおお……っ。おおっ、ほっおおっ、ふっおおっ、おっお
おっおお……っ。

っおお……っ。どぶどぶ、出て……っ。くっううん……っ。中、びゅるびゅる、こ
り重い……っ。出ているぞ……っ。

ふっううう、ふっううう、んっううっ、ぶううう……っ。は……っ、は……
っ、は……っ、は……。

ふ……。

さん……っ、だ……。

はあ、ふう……。思った通り……まだ出せたではないか……。

ん……チンポが急速に萎えていく……。どうやらこれが、本当の限界のようだ。

【効果音…ペニス引き抜く】

ふう……。

ふん……。たった一度とは言え、この私をイカせるとは……。

やはり、優秀なチンポを持っているな、貴様は……。

それだけは、褒めてやるとしようか。ふふふふ……。

6

【位置…正面・中距離】

顔を見せてみる。……ふん、憔悴しきっているな。これしきのこととそれとは、まだまだだな。

しかし、それでもわかる。ようやく兵士らしい顔つきになってきたぞ。

まだまだ弾除けにもならないクズに、産毛が生えた程度だな。

わかったか？　これが限界を超えろということだ。自分ではもう無理だとわかってからも、人間はさらに数歩、前に進めるものなのだ。

憶えておけ。

それと……貴様をこの私をイカせた。これだけの強烈アクメは久々だ。

このチンポならば、敵軍の拷問にもそう簡単には負けんだろう。

無論、持ち主の貴様次第ではあるがな。ふふ……。

……おい貴様。何を顔を緩ませているっ。そんなふやけた顔をするのは、自分のマスクキ部屋に戻ってからしろっ。

まだまだ今日の訓練は終わっていないのだからなっ。勘違いするんじゃないぞっ。

そろそろ他の新兵どもも戻ってきているころだ。合流し、本格的な訓練を開始するぞっ。

貴様らなど所詮、まだまだ血を這いずり回るウジ虫だっ。

使い物になるようになるまで、徹底的に搾ってやるからなっ。覚悟しておけよっ。

……返事はどうしたっ。

……よし。では行けっ。私もすぐに行くからな。本当の地獄はこれからだということを、

しつかり教えてやろう……っ。

くくくく……っ。